

電力販売

亀井組 家庭向け参入

県内企業初 来月から

総合建設業の亀井組(鳴門市)は11月1日

から、県内企業では初めて家庭向けに電力を販売する。新電力のF

Power(東京)

と業務提携を結び、四国電力よりも割安な料金で提供する。

第1弾として、とく

しま生協(北島町)関連会社のコープライフ

とくしま(同)を通じ、

組合員向けに販売す

る。対象となるのは、

月使用量350kWh以

上の家庭。基本料金な

どは四電と同じだが、

使用量によって変動す

る料金を安く設定して

いるため、電気料金を

節約できるといふ。

亀井組は太陽光発電

施設の提案・施工や、

企業の省エネ診断など

に取り組み、2015

年10月には企業など大

口顧客向け電力の販売

を始めた。こうした工

事業のノウハウを生

かし、家庭向けにも参

入する。

今後、とくしま生協

の組合員以外にも販売

し、1年後には5千件

の契約を目標にしてい

る。同社は「四国全体に

サービスを展開し、3

年後には3万件を目標

に事業を進めたい」と

している。(三木研司)